

■都道府県国保ヘルスアップ支援事業の概要（令和元年度）

R2. 2. 13 島根県国民健康保険運営協議会

資料 7

柱	項目	実施内容	取組状況	今後の方向性
A 市町村が実施する保健事業の更なる推進に資する基盤整備	① 都道府県レベルの連携体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ■糖尿病対策市町村等担当者連絡会 [開催日] 令和元年5月29日 [参加人数] 52人 [内容] 講演：〈講師〉島根大学医学部附属病院腎臓内科医師「腎臓専門医からみた糖尿病腎症及び糖尿病性腎臓病(DKD)～腎疾患対策検討会報告書を踏まえた今後の方向性～」 意見交換：糖尿病腎症重症化予防対策について まとめ：講演講師による助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○県西部や隠岐の参加を促すためiPadで中継し、16市町村が参加（H30 13市町村）。 ○意見交換を活発にするため、参加市町村には事前に意見交換のテーマを説明、資料の持参等を依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「島根県糖尿病予防・管理指針(第4版)」 「島根県糖尿病腎症重症化予防プログラム(R1改定)」の周知、取組推進に向けた情報交換を行う。 ○保険者努力支援制度の取組状況の共有と、国保ヘルスアップ事業の活用を促す。
	② 健康課題施策化研修～地域課題に基づくPDCAサイクルの実際～	<ul style="list-style-type: none"> [開催時期] 令和元年6月19日～令和2年2月13日 [参加人数] 6人 ■集合研修（3回） 【第1回】 講義：「地域ケアシステム方法論～地域診断に基づくPDCAサイクルの実際～」 演習：事前課題の事例紹介、意見交換 【第2回】 演習：事前課題に基づくグループワーク 講義：保健活動の評価、地域ケアシステムの構築 【第3回】 まとめと発表 ■個別指導（第2回以降、保健所単位で実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村からの受講は 4市町4名（H30 3市町5名）。県西部や町村からは、集合研修3回すべての受講は難しいとの声があった。 ○個別指導は、管轄の保健所を会場に理解度に応じた指導であり、所属の上司や同僚、保健所も参加し、個別の課題について検討できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで本研修に未参加の市町村や、国保ヘルスアップ事業を活用している市町村等を中心に、参加を働きかける。 ○集合研修はiPad対応等を検討し、遠隔地の市町村も参加しやすい開催方法を検討する。
	③ 糖尿病腎症重症化予防実践者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> (※NPO法人島根糖尿病療養支援機構に委託) ■糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座 【基礎編】 令和元年9月9日（西部会場） [参加人数] 42人 講演1：「糖尿病、糖尿病腎症の基本的理解」 講演2：「糖尿病の食事指導」 意見交換 【技術編】 令和元年12月22日（東部会場） [参加人数] 50人 講演1：「糖尿病、糖尿病腎症の総合的理解～合併症も含めて」 講演2：「糖尿病～腎症早期の食事指導」 症例検討（市町村からの提供事例によるグループワーク） ■指導媒体の作成（講座の資料をもとに指導用媒体を作成、配布予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○職種や理解度に応じて受講できるよう【基礎編】と【技術編】を開催した。各回ともiPadの中継を2会場設けた。 ○理解度の高い研修とするため、参加対象を市町村国保の保健指導従事者に絞った。また【技術編】の症例検討は、市町村からの提供による身近な事例もとに行い、理解度を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【基礎編】【技術編】を、東西の会場を入れ替えて開催する。 ○参加者からは継続開催の要望が高く、今後もアンケート等を踏まえてより効果的な講座となるよう企画していく。 ○指導媒体の活用状況を調査する。
B 市町村の現状把握・分析	④ KDB及びFocusシステム等を活用した分析・検討	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村国保広域化等連携会議 データ分析部会 [参加人数] 15名（7市町村、国保連合会） 内容：県と市町村、国保連合会が連携し、効率的・効果的に実施するデータ分析事業について検討 ■国保保険者による重複・多剤投与者に対する取組の推進に向けた医薬品に関する分析（委託） ■データ分析検討会 [参加人数] 12名（有識者 3名、県関係機関 3名、庁内関係課・グループ 6名） 内容：県国保ヘルスアップ支援事業のデータ分析事業について 	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的なデータ分析の仕組みづくりや、分析テーマ等について検討を行った。開催後、欠席の市町村も含めメールで報告を行い、来年度の取組に対し意見を集めた（回答 14市町村）。 ○重複・多剤投与者に対する取組の推進に向けた分析を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国保ヘルスアップ事業を活用し、効率的なデータ分析の仕組みを検討する。 ○重複・多剤投与に関する分析結果を関係団体等と共有し、啓発等取組の推進を図る。 ○より効果的なデータ分析となるよう引き続き有識者等の助言を受ける。
	④ 特定健診等データの集計・見える化	<ul style="list-style-type: none"> ■特定健診データの集計・見える化 ○県が導入している医療・介護・保健情報総合分析システム（EMITAS-G）からのデータ抽出（H30年度国保特定健診データ） ○抽出データをもとに、データヘルス計画等の評価に活用しやすい集計表（様式）の検討 ○集計結果をもとにした見える化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○抽出したH30年度国保特定健診データから、各種計画の評価に活用しやすい集計・見える化の案を作成し、市町村等へ提供予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○データ抽出マニュアルを作成する。 ○集計・見える化ツールを作成する。 ○今後は、各データ分析等の結果、事業評価等に有効な指標をツールに追加していく。
C 都道府県が実施する保健事業	⑤ 地域の実情に即した糖尿病腎症重症化予防プログラムの取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ■昨年度のEMITAS-Gからの抽出データをもとに、島根県糖尿病腎症重症化予防プログラムの対象者の抽出基準に関する分析を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○健診時の尿たんぱくやeGFR値の結果による5年後の状況を分析。 ○eGFR検査導入からの年数が短くデータが限られるため、今後も継続したデータの蓄積と分析が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県糖尿病対策会議等で検討を行いながら分析を継続する。 ○事業の評価に活用できる指標は、特定健診等集計・見える化ツールに反映させる。

★連絡会参加者満足度 92.9% ★連絡会の継続開催希望 83.8%
★保険者努力支援制度の重症化予防に取り組む市町村数 2019年度 12⇒ 2020年度(2019年度実施) 16

★受講者の理解度 85.3%（基礎編・技術編の平均） ★指導できる項目が増加した者 77.3%
★【基礎編】と【技術編】を継続開催希望 73.3%（技術編のみ希望 15.6%）

R1年度 R2年度 R3年度～
事業方針検討・分析テーマ検討 仕組み検討・分析実施 分析事業スタート

H30年度 R1年度 R2年度 R3年度～
事業方針検討・データ抽出 集計・見える化案作成 案修正・ツール作成 データ提供・ツール修正

H30年度 R1年度 R2年度 R3年度～
事業方針検討・データ抽出 分析・有識者との検討 分析(研修?)・ツールへ反映 分析

柱	項目	1 年 目（平成30年度）				2 年 目（令和元年度）				
		事業名	目的	実施内容	結果・評価	事業名	目的	実施内容	結果・評価	今後の方向性
A	市町村が実施する保健事業の更なる推進に資する基盤整備	① 都道府県レベルの連携体制構築	糖尿病対策市町村等担当者連絡会	保険者努力支援制度で加点割合が低率な糖尿病腎症重症化予防対策について、市町村の情報共有と取組の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○開催日]平成30年6月27日 [参加人数]34人 ○行政説明：県における糖尿病対策の取組、腎症重症化予防プログラムについて ○事例報告：市町村の取組事例（大田市・邑南町） ○研修会：「糖尿病重症化予防対策の重要性と保健指導のポイント～基本的理解と実践」（NP0法人島根糖尿病療養支援機構） ○意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○13/19市町村が参加し、市町村の参加率は68.4%だった。 ○内容の満足度は高かった(90.9%)が、内容が盛り沢山で時間不足となり意見交換が十分にできなかった。 ○研修に際して市町村の取組状況等実態把握や、講師との打ち合わせ等内容充実に向けた努力がなされた。 	糖尿病対策市町村等担当者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ○開催日]令和元年5月29日 [参加人数]52人（会場 35名、iPad 17名） ○講演：「腎臓専門医からみた糖尿病腎症及び糖尿病性腎臓病(DKD)～腎疾患対策検討会報告書を踏まえた今後の方向性～」(島根大学医学部附属病院腎臓内科医師) ○意見交換：糖尿病腎症重症化予防対策の充実に向けて ○まとめ（講演講師による助言） 	<ul style="list-style-type: none"> ○県西部と隔岐はiPad参加を可能とし、16/19(84.2%)市町村の参加を得た。 ○アンケートの回収率はiPad会場合わせて92.3%、満足度も92.9%と高かった。 ○意見交換を活発にするため、参加市町村に対し事前に意見交換のテーマを説明、資料の持参等を依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県糖尿病対策圏域合同連絡会議や糖尿病委員会等との連携を図る内容とする。 ○「島根県糖尿病予防・管理指針（第4版）」「島根県糖尿病腎症重症化予防プログラム（R1改定）」の周知と、これらに基づく取組推進に向けた意見交換を行う。 ○保険者努力支援制度の取組状況の共有と、国保ヘルスアップ事業の活用を促す。
		② 人材育成	中堅期保健師等人材育成研修	地域課題の明確化と事業の実施・評価の実践を学び、PDCAサイクルに添った効果的・効率的に保健事業の展開を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ○開催時期]平成30年6月～31年2月 [参加人数]6人 ○集合研修（3回） 【第1回】 講義：「地域診断に基づくPDCAサイクルの実践」 演習：事前課題の事例紹介、意見交換 講義：「データ分析から施策化へ」 【第2回】 演習：事前課題に基づくグループワーク 講義：「保健活動の評価について～基本的な考え方・評価方法・評価の実践～」 【第3回】 まとめと発表 ○個別指導 保健所単位で市町村を参集し、受講生を中心に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村からの受講者は3市町村5名であった。 年間を通しての研修のため、小規模市町村の参加が特に難しかった。 ○個別指導は延べ9回実施し、集合研修で補えない内容に対応、理解度に応じた指導ができ、満足度の高い研修となった。 	健康課題施策化研修～地域課題に基づくPDCAサイクルの実践～	<ul style="list-style-type: none"> ○開催時期]令和元年6月～令和2年2月 [参加人数]6人 ○集合研修（3回） 【第1回】令和元年6月19日 講義：「地域ケアシステム方法論(地区診断・企画・計画策定)～地域診断に基づくPDCAサイクルの実践～」 演習：事前課題の事例紹介、意見交換 【第2回】令和元年8月8日 演習：事前課題に基づくグループワーク 講義：保健活動の評価 地域ケアシステムの構築 【第3回】令和2年2月13日 まとめと発表 ○個別指導 第2回以降、保健所単位で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の所属内、あるいは保健所と市町村等、チームでの参加を促した。 ○市町村からの受講は、4市町村4名だった。集合研修が県東部であり、県西部や町村からは、集合研修3回すべての受講は難しいとの声があった。 ○個別指導は、管轄の保健所を会場に理解度に応じた指導であり、所属の上司や同僚、保健所も参加し、個別の課題について共有、検討できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで本研修に未参加の市町村や、国保ヘルスアップ事業を活用している市町村等を中心に、参加を働きかける。 ○集合研修はiPad対応等を検討し、遠隔地の市町村も参加しやすい開催方法を検討する。
		③ 人材育成	糖尿病腎症重症化予防実践者育成事業（育成講座）	病態や指導が複雑な糖尿病腎症に対し、定期的な学習の場や医療と連携した体制づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ■糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座 【開催時期】※2会場で開催（内容は同じ） 【東部会場】平成30年12月23日 [参加人数]78人 【西部会場】平成31年1月21日 [参加人数]83人 【内容】 講演①：糖尿病腎症の病態と治療について 講演②：保健指導のあり方～特に食事指導について 症例検討：基本アセスメントの視点、意見交換 ■報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政担当者他、医療機関関係者等の参加も多く、多機関・多職種の実践があった。 ○事前・事後でアンケートを実施し、事業の評価と理解度の促進に努めた。 ○総合的な内容を網羅するための情報量が多くなり「時間をかけて聞きたかった」「スピードが速く理解不十分だった」等の声があった。職種や経験年数によっても理解度や困難さに差が生じた。 	糖尿病腎症重症化予防実践者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ○職種や理解度に応じて受講できるよう基礎編と技術編を開催した。 ○理解度の高い研修とするため、対象は市町村国保の保健指導従事者に絞り、内容も腎症早期までの対応とした。また【技術編】の症例検討は市町村からの提供による身近な事例をもとに行い、理解度を深めた。 ○事前・事後のアンケートの比較から、77.3%の参加者で指導できる項目が増加した。 ○【技術編】の講義は難しかったとの声も多く、理解を深めるため継続した研修開催への要望が多かった。 ○前年度のアンケートでの要望から、指導に活用する媒体を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎編・技術編を、東西の会場を入れ替えて開催する。 ○年度前半での開催とし、より理解度を高めるよう【基礎編】【技術編】を1～2か月程度の期間で計画する。 ○参加者からは継続開催の要望が高く、今後もアンケート等を踏まえより効果的な講座となるよう企画していく。 ○指導媒体の活用状況を調査する。 	
B	市町村の現状把握・分析	④ 特定健診等データを活用した健康実態の分析・検討	KDB及びFocusシステム等を活用した分析・検討	<ul style="list-style-type: none"> ○分析実施に向け健康福祉部データ活用プロジェクトワーキング(5回)、データ活用検討会(2回)で検討 ○データは個人紐づけデータの抽出を国保連に委託 ○分析は、島根大学地域包括ケア研究センターと共同研究として実施（検討会5回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根大学地域包括ケア研究センターと健康課題に応じた詳細な分析や意見交換できる体制が構築できた。 	KDB及びFocusシステム等を活用した分析・検討	<ul style="list-style-type: none"> ○医療費適正化の推進に向けて、保健・医療・介護のデータの課題を分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ○県と市町村、国保連が連携し、データ分析とその活用について検討するためデータ分析部会を開催した。 ○効果的なデータ分析の仕組みづくりや、欠席市町村等について検討を行い、また、欠席市町村からも意見を集めた（回答14/19 73.7%）。 ○今年度はヒアリング等での市町村の意見から、重複・多剤投与者に対する取組の推進に向けた分析を行った。 ○県が実施しているデータ分析について検討、共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村から提案があったテーマを中心に、データ分析を行い、今後の効果的なデータ分析の仕組みづくりを検討する。 ○保険者努力支援制度の取組状況の共有と、国保ヘルスアップ事業の活用を促す。 ○重複・多剤投与に関する分析結果を関係団体等と共有し、啓発等取組の推進を図る。 ○より効果的なデータ分析となるよう引き続き有識者等の助言を受ける。 	
		特定健診等データの処理及び集計	保健・医療・介護等のデータの分析による健康課題の把握や実態の見える化を行い、効果的・効率的な保健事業の展開を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○集計方法についてヒアリングを実施（3市町）。これをふまえてデータ活用プロジェクトワーキングで意見交換。 ○国保被保険者への効果的な事業展開、保険者を超えた共通課題の把握と介入のため、協会けんぽの健診結果を含めた集計を委託実施。一部を見える化する。 ○結果は保健所を含む関係機関で共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協会けんぽを含む壮年期を中心とした地域の実態把握が可能となった。 ○国保の課題の明確化、他保険者との連携等、活用方法を検討する必要がある。 	特定健診等データの集計・見える化	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診データの集計及び見える化が継続的に可能となるツールを作成し、市町村における保健事業の展開を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ○委託によりEMITAS-Gからのデータ抽出を行い、抽出に必要なSQLの提供を受けた。 ○市町村等に提供した集計表・見える化資料に（SQLの活用により必要時、継続したデータ抽出が可能となる。） ○抽出データをもとに、H30データの集計・見える化を行い、市町村等へ提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続したデータ抽出に向け、SQLによるデータ抽出マニュアルを作成する。 ○市町村等に提供した集計表・見える化資料に対する意見をまとめて修正し、集計・見える化ツールを作成する。 ○今後は、レセプトデータも含むデータ分析等の結果、事業評価等に有効な指標をツールに追加していく。 	
		データヘルス推進にかかわる研修会	データヘルス推進にかかわる研修会	<ul style="list-style-type: none"> ○開催日]平成31年2月22日 [参加人数]72人 ○講演：「PDCAサイクルを踏まえた保健事業の評価」 ○演習：「保健事業の企画・評価計画を作成してみよう！」 	<ul style="list-style-type: none"> ○データ分析結果を活用した研修会の開催を予定していたが、分析が滞ったため、地区診断から評価の手法を学ぶ研修会を開催した。 	データヘルス推進にかかわる研修会	<ul style="list-style-type: none"> ○データ分析結果を活用した研修会を開催し、課題の共有と保健事業の効果的な実施を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度のデータ分析結果及び集計ツールについて、次年度に情報共有及び活用を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の集計結果や分析結果、KDBデータ等を活用し、データヘルス計画の評価や効果的な事業展開に向けたデータ活用について研修を行う。 	
		保険者努力支援制度等国保保健事業にかかる取組状況調査	市町村における国保保健事業の取組状況及び課題等を把握し、好事例の横展開や課題に応じた具体的な支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○保険者努力支援制度の項目を中心とした国保保健事業にかかる取組の状況調査を実施し、実施状況や課題を把握（国保連会と共同で実施。8月） ○結果は研修会等で共有し、取組の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○全市町村から回答を得ることができた。 ○実施の内容や時期、必要性は、国や国保連等の調査動向を踏まえて検討する必要がある。 	保険者努力支援制度等国保保健事業にかかる取組状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村における国保保健事業の取組状況及び課題等を把握し、好事例の横展開や課題に応じた具体的な支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○努力支援制度(2019年度)の重症化予防の取組状況調査は全市町村から回答を得た。 ○努力支援制度(2020年度)の採点に合わせて事業実施状況を確認、加点市町村は、2019年度12⇒2020年度16市町村となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の負担等考慮し、国等が行う調査結果の活用を基本とし、必要に応じて追加の調査を行う。 ○努力支援制度の採点に合わせて情報共有を行い、必要な支援を検討する。 	
個別のヒアリングによる実態把握	市町村における国保保健事業の取組状況及び課題等を把握し、好事例の横展開や課題に応じた具体的な支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○県市町村指導監査及び国保連会保健指導相談にあわせ、市町村でのヒアリングを実施 ○県市町村指導監査保健事業分については、保険者努力支援制度に沿ったヒアリング項目へ修正し把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導監査中でのヒアリングには時間配分等に配慮が必要。 	個別のヒアリングによる実態把握	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村への指導助言（6市町村）や、国保保健事業に関する研修会（10/28・10/29・11/13 保健事業の推進に係る地区別研修会、12/20 糖尿病性腎症重症化予防セミナー等）に合わせた保健事業の取組状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導や研修会等に合わせ、取組状況や課題を共有した。 ○重複・多剤投与者に対する取組に苦慮しているとの意見が多かったことから委託によるデータ分析を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分析結果を保険者協議会等へ提供し、普及啓発等対策を検討する。また、データ活用の研修会等で活用する。 			
C	都道府県が実施する保健事業	⑤ 地域の実情に即した糖尿病腎症重症化予防プログラムの取組推進	市町村における総合的な糖尿病対策の推進に向けた実態把握と評価手法の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○EMITAS-Gから抽出するデータ項目の選定、抽出 ○データ分析検討会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な分析に向け、検討会を開催 ○分析項目の検討に時間を要し、データ抽出までの実施に留まった。 	糖尿病腎症重症化予防プログラムの取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ○県内全域での糖尿病腎症重症化予防プログラムの取組推進に向けた実態把握と評価手法の検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度のEMITAS-Gからの抽出データをもとに、島根県糖尿病腎症重症化予防プログラムの対象者の抽出基準に関する分析を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○尿たんぱくやeGFR値の結果による5年後の状況を分析、12/5 データ分析検討会で検討を行った。 ○eGFR値からの年齢が短くデータに限られるため、今後も継続したデータの蓄積と分析が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門医等との検討、糖尿病委員会、糖尿病対策圏域合同連絡会議等で、関係者と共有し取組の推進を図るとともに、検討内容を踏まえ継続して分析を行う。 ○結果を市町村と共有し、事業の評価に活用できる指標は特定健診等集計・見える化ツールに反映させる。
		糖尿病腎症重症化予防実践者育成事業（個別支援）	市町村の課題に応じた個別の実践的な助言指導を行い、取組の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ※実施せず （西部会場での育成講座終了後、個別検討会を実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル市町村を選定した実践的指導を想定していたが、実態把握・分析を優先的に実施することになった。 	糖尿病腎症重症化予防に対する個別支援	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に応じた個別支援（または保健所単位の支援）を行い、取組の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域糖尿病対策担当者会議への支援（1圏域） ○CKD対策評価に関するデータ分析についての検討（1市） 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域からの求めに応じ、新たに重症化予防に取組む町の状況を把握、圏域での重症化予防対策について検討を行った。 ○市が行うCKD対策の評価に関する分析と、県の重症化予防に関する分析の状況を共有し、検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組に苦慮している市町村への支援方法を検討する。 ○圏域や市町村に対し、必要に応じて支援を行う。